



広報

たしろ

No.483

平成 5 年

11月号

平成 5 年 11 月 11 日 発行

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地 1



長寿社会推進パイロット事業 ふれあいスポーツ大会

(関連記事 2 ページ)

若者に夢とロマン

松田町長3選

寝たきり老人のいない

町づくりをめざして

任期満了に伴う田代町長選挙が、十月十七日に行われ前回と同様、現職の町長松田進氏(71)と元町議会議長の宮原貢氏(63)の二人が立候補し、選挙戦の結果、現職の松田進氏が3選されました。



もうかる農業の基盤づくりを目指して

三期目の抱負については、「町政に停滞は許されない町民の親和がなにより重要」と融和を呼びかけ、三期目を「二十一世紀への基盤づくり」に全力で取り組み、政策課題の第一に農業振興を挙げる。「もうかる農業でない」と後継者も育たない。若者だけでなく高齢者も生きがいを見いだせる農業づくりに努めるとともに、町民の声を町政に生かせるように努力したい。肝属南部総合農用地開発や「むらづくり一品運動」の更なる推進、広域農道の早期完成、国産材時代に備えた林道網の整備、高齢者の知恵と経験は貴重、「寝たきり老人のいない町づくり」が念願と強い熱意と意気をみせ、更に生涯学習の推進、近隣町との協力により「活力に満ちた、緑と心の豊かな町」づくりと、若者が夢とロマンの里の建設を目指したい。

今後四年間松田町長の政治手腕、行政手腕を存分に

発揮されますことをご期待いたします。

松田町長の略歴

大正十一年三月十三日生まれ。昭和十四年鹿児島県立根占実業高等学校卒業。昭和五十一年町助役に就任以来三期努め、昭和六十年町長に初当選、今回三期目。

田代町議会議員 補欠選挙

町議会議員補欠選挙には、新人の伊藤文吉氏(70)、井手口正頼氏(62)、姫ヶ迫勇氏(43)、大垣守氏(45)の四人が立候補し、激しい選挙戦が展開され、伊藤文吉氏、井手口正頼氏の二人が初当選されました。



伊藤 文吉 氏

「伊藤文吉氏の略歴」

大正十二年五月十四日生まれ。昭和二十三年東京農

業大学卒業。昭和三十七年から昭和五十九年まで商工会指導員として活躍され、平成二年より大原地区村づくり推進協議会長を務める。今回町議会議員に初当選される。



井手口正頼 氏

「井手口正頼氏の略歴」

昭和六年二月二十一日生まれ。昭和二十年田代国民学校卒業。昭和二十年より田代町で農業経営。今回町議会議員に初当選される。

長寿社会推進パイロット事業

ふれあいスポーツ大会

十月二十七日、川原グラウンドで、老人クラブ・身障協・母子会合同のスポーツ大会が、盛大に行われました。

競技は、すべてトラック内で行われ、おきかえ競争やグラウンドゴルフなどに、

一生懸命が入り、ころぶ人があったり、ボールをけとばす人ありで、にぎやかに和気あいあいと楽しく競技がくりひろげられました。成績は次のとおりです。
優勝 大原下老人クラブ
二位 母子会



お知らせ

指名手配犯人逮捕にご協力を!

今、全国で指名手配されている犯人は、2,802人(平成5年7月日現在)

これらの犯人は殺人・強盗犯人であったり、窃盗・詐欺の犯人であったりと、色々ありますが再び犯行を繰り返すおそれがあり、早期に逮捕しなければならぬ者ばかりです。

そのため、警察では十一月を特にリストアップした凶悪犯人逮捕のために全国警察の総力を上げて取り組む月としています。

昨年も、この月に千六百六十六人の指名手配者を逮捕しましたが、その内五十七人は、市民の皆さんからの通報によるものでした。

強盗事件で指名手配し、新聞等で犯人に関する情報提供の呼び掛けをしていたところ、新聞をみた旅館経営者の方から「建設現場の監督として宿泊している人が似ている」と通報があり犯人を早期に逮捕できた。

というものです。凶悪犯人を早期に逮捕するためには、皆さんにご協力していただくことが必要です。

どんなささいなことでも

かまいませんので、警察にご一報お願いします。

ご存知ですか

「税を知る週間」

十一月十一日から十七日まで「税を知る週間」です。

税金は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、国や地方公共団体が活動するための大切な資金です。

「税を知る週間」は、国民生活に深いかかわりを持っている税について、その仕組みや使われ方などを、広く国民の皆さん方に正しく理解していただくために設けられているものです。

この期間、「この社会あなたの税がいきている」をスローガンとして、サラリーマンや主婦、児童・生徒などを対象とした「租税教室」、生活のまわりに様々な税の問題を題材にした講演会、デパートや市役所・役場での税に関する資料展示など多数企画しています。

この機会に、家庭や職場

などで、税について話し合ってみましょう。

青少年の夢と希望を

はぐくむ運動月間

本県では、毎年十一月を「青少年の夢と希望をはぐくむ運動月間」と定め、県民一体となった青少年健全育成活動をすすめております。

次代の鹿児島を担う青少年が、自立の精神に富み、豊かな感性や創造性を持ち、個性豊かでたくましい人間に成長することは、県民すべての願いであり、家庭・学校・地域社会が一体となり、県民総ぐるみで青少年の健全育成を図ることが大事です。

「青少年育成の日」を中心に青少年を主体としたスポーツ・文化活動やボランティア活動を積極的に行いましょう。

狩猟期を迎えて

今年も十一月十五日から、来年の二月十五日まで、狩

猟が解禁になります。毎年狩猟事故の絶無を願いますが、全国的に事故が発生しています。

ハンターの皆さんは、銃の危険性を十分認識し、次の基本ルールを確実に守り、事故のない楽しい狩猟を心がけましょう。

『事故防止の基本ルール』
○銃は自分で確実に保管しましょう。

○脱包を励行しましょう。

○水平撃ちは避けましょう。

○矢先の安全を確認しましょう。

○銃口は絶対に人のいる方向に向けないようにしましょう。

○猟仲間の位置を確認しましょう。

また、ハンター以外の方で、この期間中に野山に行くときは、目につきやすい派手な服装で、ラジオを携帯するなど、ハンターへ注意を呼びかけて下さい。

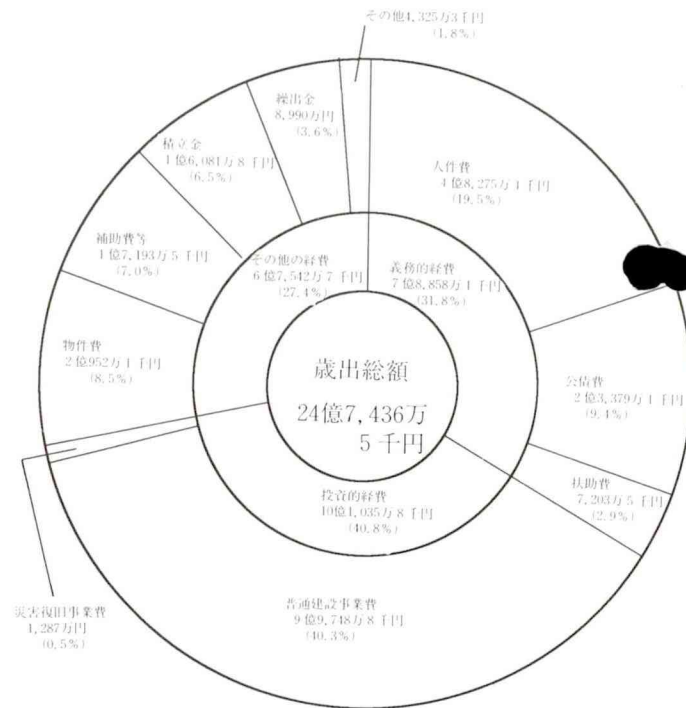


平成4年度の主な事業

〈総務費〉	
庁舎室内換気施設整備	7,720千円
集落集会施設増改築等整備	9,181千円
〈民生費〉	
ふれあい広場施設整備	28,873千円
老人福祉センター増築	7,375千円
高齢者、身障者トイレ建設	4,645千円
ふれあい農園、ハウス整備	2,649千円
〈衛生費〉	
合併処理浄化槽設置補助	6,175千円
機能訓練送迎用リフトバス購入	3,505千円
〈農林水産業費〉	
葉たばこ共同乾燥施設整備	37,586千円
活動火山周辺地域防災営農対策事業 (花瀬観光農園ハウス)	14,827千円
茶産地総合整備(荒田原防霜ファン)	15,710千円
県単独農業農村整備(栗山地区圃場整備)	40,000千円
林業構造改善事業(林道横堀線開設)	54,165千円
林業構造改善事業(作業路粕ヶ埵線開設)	21,160千円
池野林道舗装	56,178千円
〈商工費〉	
バンガローパーベキュー施設整備	1,894千円
〈土木費〉	
平石・狩倉線改良舗装	45,314千円
町道改良舗装	92,353千円
若者定住促進住宅建設	29,829千円
宅地分譲用地造成事業	22,280千円
〈消防費〉	
コミュニティ消防センター建設	18,939千円
防火水槽新設	8,034千円
〈教育費〉	
大原小学校庭排水工事	7,777千円
田代中大規模改造	125,758千円



〔歳出の内訳〕(性質別) 田代中

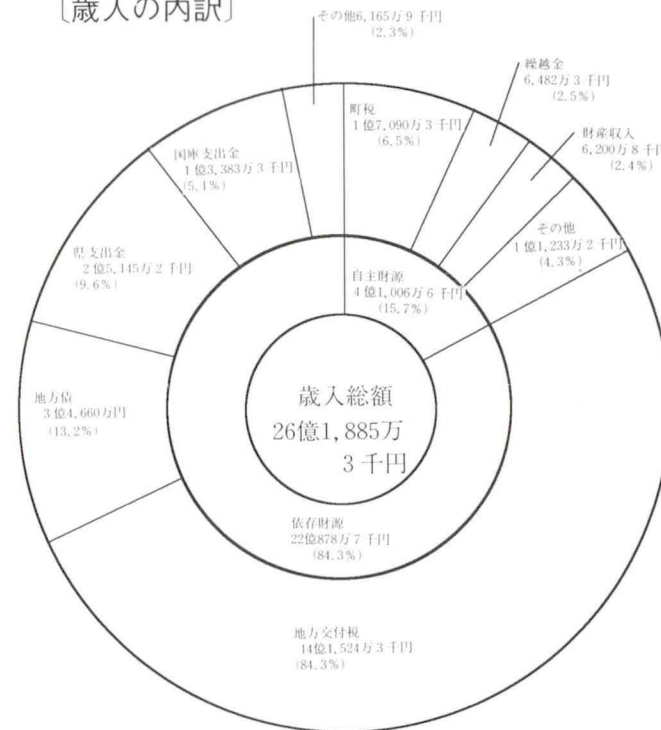


平成4年度 決算のあらまし



若者定住住宅

〔歳入の内訳〕

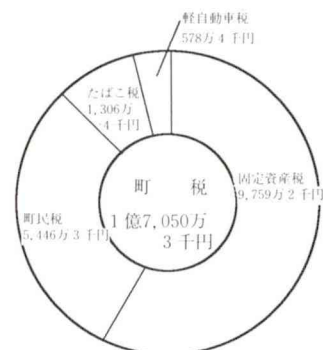


平成4年度のわが町の一般会計歳入歳出決算がまとまりました。
決算額は歳入二十六億千八百八十五万三千円、歳出二十四億七千四百三十六万五千円となり、九月定例議会で決算特別委員会に審査を付託されていますが、その内容をお知らせします。

歳入

歳入の主なものは、地方交付税が十四億千五百二十四万三千円で全体の54・1%を占めて最も多く、この中には地域づくり推進事業費一億千四百六十六万七千円、地域福祉基金費四千九百二十四千円、土地開発基金費二千百三十三万九千円が含まれています。

町税と住民負担の状況



(人口3,802人 世帯数1,427 H5.3.31現在)

税目	1人当たり	1世帯当たり
固定資産税	25,669円	68,390円
町民税	14,325円	38,166円
たばこ税	3,436円	9,155円
軽自動車税	1,521円	4,053円

特別会計の決算状況

会計別	歳入	歳出	差引
国民健康保険	403,937	343,000	60,937
簡易水道事業	31,240	22,813	8,427
老人保健医療	375,883	368,902	6,981

歳出決算額を性質別にみると、普通建設事業費が九億九千七百四十八万八

歳出

そして、地方債が三億四千六百六十万円で13・2%、県支出金が二億五千四百五十万二千円で9・6%を占め、県支出金は林業構造改善事業、水田農業確立小規模排水対策事業等の増によるものです。繰入金は一億九百九十三万円で1・5%、国庫支出金が一億三千三百八十三万三千円で5・1%となっており、繰入金の大規模な減については、庁舎建設事業完了に伴う庁舎建設基金、財政調整基金繰入金の減によるもので、国庫支出金については災害復旧事業等の減によるものです。また、歳入を自主財産と依存財産に分けると町税、財産収入、繰入金などの自主財産は全体の15・7%で四億千六十六万六千円、地方交付税、県支出金、地方債などの依存財産は84・3%で二十二億八千七百七十八万七千円となっています。

千円で歳出全体の40・3%、次いで人件費が四億八千二百七十五万四千円で19・5%、公債費が二億三千三百七十九万四千円で9・4%、物件費が二億九百五十二万四千円で8・5%などとなっており、普通建設事業費については林業構造改善事業、田代中大規模改造事業などの補助事業は、三億二千四百五十二万九千円の増となっていますが、逆に単独事業は庁舎建設事業、ディサービスセンター建設補助等の完了により四億九千九百三十三万円の減となっています。また、義務的経費は七億八千八百五十八万円で、31・8%、4・9%の増、投資的経費が十億千三百五十八万四千円で40・8%、6・4%の減、その他の経費は六億七千五百四十二万七千円で、27・4%、1・5%の増となっています。

財政状況の公表に関する条例に基づき、平成五年四月から九月までの上半期における財政状況が、十一月一日に公表されましたのでお知らせします。

田代町財政事情

平成5年度上半期（4月～9月）

平成五年九月末現在の一般会計予算額は三十六億八千八百八十四万九千円で、当初予算額二十七億四千六百六十二万四千円に、補正予算額八億三千四百八千円を加えた額と平成四年からの明許繰越予算額一億二千七百七千円を加えた額です。

補正予算の主なものは、活動火山周辺地域防災対策四千七百九十二万六千円、ふるさと林道緊急整備事業六千万円、宅地分譲用地造成事業千六百七十万円、地域福祉基金積立金五千八百五十万円、ふれあいの森整備千五百五十六万八千円、長谷川災害関連工事二千五百万円、武道館屋根災害復旧工事千九百九十二万円、大原小屋内運動場建設一億五千三百四十六万四千円、公共土木災害復旧三千百七十四万五千円などです。

一般会計の収入済額は、十三億九千三百三十三万三千円で、予算現額に対する執行率は収入全体で37・68%となり、支出済額は九億六千六百八十九万九千円で執行率は支出全体で26・2%となっています。

健康だより

「冬に向い、心臓病を予防しよう」

＊予防
日常生活から

危険因子を取り除く
狭心症、心筋梗塞を起こしやすい危険因子には、次のようなものがあります。

- ・高血圧
- ・糖尿病
- ・高脂血症
- ・運動不足
- ・喫煙
- ・ストレス
- ・肥満
- ・高尿酸血症

特に、高血圧、喫煙、高脂血症、そしてストレスの四つが、最も大きな危険因子です。

「高血圧」は、動脈の中の圧力を上げ、コレステロールや脂肪が血管壁にしみ込むのを促進します。血管にしみ込んだコレステロールや脂肪は、血管を硬くする動脈硬化を引き起こし、さらに進行する動脈内腔を狭くします。高血圧は、冠状動脈だけでなく、脳血管、腎臓の血管に変化が起ると、血圧がさらに高くなる

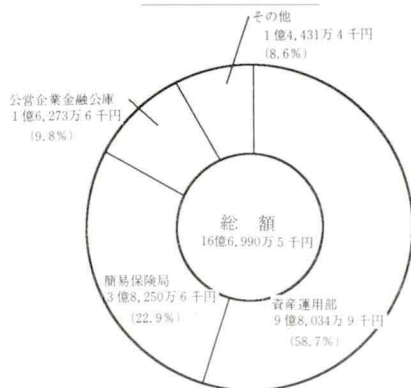
という悪循環を形成します。「高脂血症」は、血中にコレステロールや中性脂肪などの脂質が必要以上に多くなっている状態で、血中の余分な脂質が血管壁にしみ込んだりして、動脈硬化を促進します。

またたばこは、その成分であるニコチンが交感神経をし刺激して、血管を収縮し、脈拍を増加させます。また、血管の壁を障害して、動脈硬化の引き金にもなります。

「ストレス」は、血圧を上げ、血中のコレステロールを増やします。それが長期間にわたるとやがて慢性化して高血圧になり、動脈硬化が促進されます。

これらの危険因子が増すほど、狭心症、心筋梗塞の危険度は高くなりますが、食事や運動によって、発症が予防されることもあります。しかしそのような日常生活の改善によって、高血圧や高脂血症のコントロールができない場合には、必ず医師に相談して下さい。また、運動は狭心症、心

町債の現在高



町有財産の現在高

土地	4,827,924㎡
建物	25,975㎡
有価証券	5,368,000円
出資金	12,542,562円
基金	1,072,550,680円

一時借入金

1,000,000円

歳出

(単位：千円、%)

区 予	算	現	分 額	支出済額 (率)
農 林 水 産 業 費 1, 2 7 5, 4 1 4				139, 374 (10.9)
教 育 費 4 7 3, 6 8 5				144, 159 (30.4)
民 生 費 4 6 8, 3 0 7				163, 033 (34.8)
土 木 費 4 5 2, 7 0 1				156, 451 (34.6)
総 務 費 2 8 1, 9 6 6				109, 219 (38.7)
公 債 費 2 6 0, 3 9 6				132, 057 (50.7)
災 害 復 旧 費 2 0 4, 5 2 7				15 (0.7)
衛 生 費 9 2, 7 0 2				38, 015 (41.0)
消 防 費 7 9, 3 5 3				41, 616 (52.4)
議 会 費 7 3, 3 9 4				32, 581 (44.4)
商 工 費 2 2, 6 5 5				10, 379 (45.8)
予 備 費 3, 7 4 8				0
諸 支 出 金 1				0
歳 出 合 計 3, 6 8 8, 8 4 9				966, 899 (26.2)
歳 出 執 行 率				2 6. 2 %

歳入

収入済額（率）		区 予 算 現 分 額
	1,023,249 (69.9)	地 方 交 付 税 1,463,839
	21,865 (3.4)	県 支 出 金 648,725
	0	町 債 550,400
	31,790 (8.4)	国 庫 支 出 金 378,890
	101,765 (62.6)	町 税 162,450
	0	繰 入 金 139,802
	144,487 (100.0)	繰 越 金 144,487
	4,363 (8.6)	諸 収 入 50,732
	11,311 (27.6)	地 方 譲 与 税 40,946
	10,814 (30.2)	財 産 収 入 35,817
	8,982 (25.6)	分担金及び負担金 35,109
	10,388 (50.3)	使用料及び手数料 20,657
	4,525 (37.1)	自動車取得税交付金 12,200
	1,970 (57.3)	利 子 割 交 付 金 3,441
	0	交通安全対策特別交付金 1,100
	254 (100.0)	寄 附 金 254
1,393,333 (37.8)		歳 入 合 計 3,688,849
歳入執行率		37.8%

一般寄附金

去る九月八日、上原伊世吉さん（上原集落）が、町社会福祉協議会事務局を訪れ「社会福祉のために役立てて下さい。」と多額の御寄附を賜りました。

この善意のお金は、台風十三号が襲来し、田代町におきましても多大な被害が発生しましたが、幸いなことに人命に係わる災害がなかったことに感激され、早く災害復興されるようにと賜ったものです。

善意の御寄附を町民一同と共に感謝申し上げます。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

田代町社会福祉協議会「篤志寄附金」

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され社会福祉協議会へ多額の寄附を賜りました。厚くお礼申し上げます。に御冥福をお祈りします。

上野重信様
猪鹿倉仙次郎様

人口のうごき

平成5年11月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,812	2	2	1	5	△2
女	1,991		1		3	△2
計	3,803	2	3	1	8	△4
世帯数	1,429					0

教育だより

田代中学校

夏休み作品展

本校では夏休み中の研究物や作品を鑑賞し合い、励みにしようという目的で作品展を開催しています。今年も文化部の生徒が計画・準備を進め、良い作品展となりました。



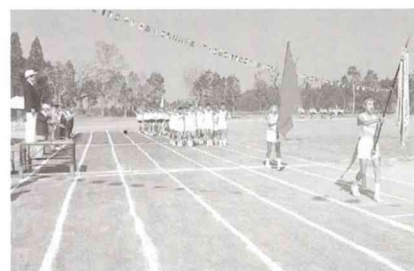
＜みんな、素晴らしい作品です＞



＜僕ももっとがんばらなくては!!＞

体育祭

秋晴れの中、第47回の体育祭が開催されました。競技出場や係の仕事のため、息つく間もなく駆け回る生徒の姿に、盛大な拍手が贈られていました。



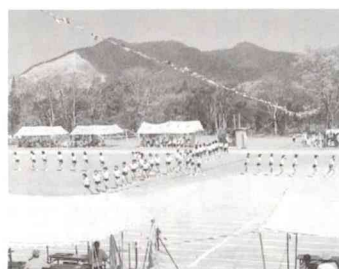
＜堂々とした入場行進でした＞



＜あ～苦しかった!＞



＜組体操は力強く、美しいでした＞



＜創作でがんばったマスゲーム＞



＜南松園の方々も楽しんでいただきました＞

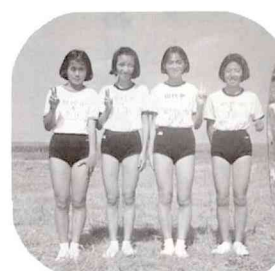
田代中女子が県大会へ

郡中学校駅伝大会
10月20日(木)に高山町で実施され、田代中女子Aチームが23チーム中三位と大活躍し、11月12日の県大会に出場することになりました。部活動の準備運動を兼ねたランニングが効を奏したようです。

なお、田代中男子が五位、同女子Bが七位と健闘しました。『やればできる』という田代中の合い言葉が現実のものになりました。



激走、男子3区



全力尽くしたこの笑顔

パソコンによる研究授業

新しい学力観に立って



画面の向こうに未来が見える

今、町内の小中学校には計48台のパソコンがあり、教科の授業やクラブ活動等で有効に利用されています。(田代小・中に各17台、大原小・中に各7台)
9月28日には、田代小でパソコンを使っている校内研究授業が実施され、美しいカラー画面の動きに子供たちは食い入るように見つめていました。画面の向こうに未来が見えたのかも……

町小体連陸上記録会

二つの新記録生まれる!



力強く選手宣誓

小雨と風に見舞われた10月29日(金)に町小体連の陸上記録会が開催され、町内の

田代町にゆかりのある家の作品を集めて二月に開催した「田代ふるさとの匠展」。

八月には、サッカーのPK戦とどろんこドッジボール、夜の演芸大会と、今までの夏祭りから一歩趣向を変えた「花瀬どんこびっ祭り」。

今年もチーム、プロジェクトFでは、田代の活性化のため取り組んできました。「天候不順の今年こそ、田代の皆さんに夢をもたらし企画を」という思いを胸に

五・六年生84名が参加しました。(田代小71名、大原小13名)

悪天候とグラウンドコンディション不良のため、走る競技だけが実施されましたが、悪条件にもかかわらず、二つの新記録が生まれました。

・五年男子四〇〇メートルリレー(一分〇三秒五三)
山下知幸、大庭将太、舞原佑貴、鶴園純一
・五年男子八〇〇メートル(二分四十八秒八三)
鶴園純一

一昨年、昨年に引き続き、『サザンナイト・オートシネマ』を開催します。

(期)12月18日(土)・19日(日)
(時間)午後六時上映開始
(内容)話題の映画二本、レジーザ・光線と花火のショー
(料金)車一台につき三千元
チケット予約は11月25日から電話受付開始
(期)12月18日(土)・19日(日)

(お問い合わせ)プロジェクトF事務局(五・二五・一五)
また、19日(日)の午前中は中央公民館では、町内の子

読書の秋は深く……

食欲の秋、スポーツの秋、文化の秋、そして読書の秋。読書にふさわしい秋の夜長になってきました。さて、皆さんは、今どんな本をお読みでしょうか？ まだ本が決まらない方々に、中央公民館図書室に入った新しい本の一部をご紹介します。次挙げる本の他にもたくさん購入しましたので、心の友として、生涯学習の友として広くご利用下さい。

実行委員スタッフ

募集のお知らせ

サザンナイト・オートシネマを成功させるため、町内の若い力を必要としています。イベントに興味のある方、田代町の未来を考えている方、等々、ぜひ参加してみませんか。お問い合わせは、五・二五・一五、プロジェクトF事務局まで。来たれ、夢多き若者達よ!

田代小中学校合同

家庭教育学級(10/26)

30名足らずのお母さん方が田代中学校で学習を深めました。

まず、多目的ホールで同和問題啓発映画「雨の指もじ」を視聴して感動した後、その映画の内容をもとに同和問題の基本的理解を図るために講話を聞きました。その中で、同和問題を真に理解し、部落差別を根絶するために大切な点をいく

(一般向)

・ロシアのお話とわらべうた 大日本図書 編
・世界の青春ノベルズ 岩波書店 編
・日本昔話百選 稲田浩二・和子 作
・小さい魔女 オトフリート・プロイスラー 作
・ぞうのババール ジャン・ド・プリュノフ 作
・あおくんときいろちゃん レオレオーニ 作
・一〇〇万回いきたねこ 佐野洋子 作

つか学ぶことができました。
一、同和問題を正しく理解する。
二、同和問題を自分自身の課題としてとらえる。
三、自分の生活や身の回りを見直す。
四、差別的な精神的風土の改善に取り組む。
五、社会教育諸学級講座における学習を通して、差別のない明るい地域づくりを進める。
そして、何よりも大切なことは「思いやり」「勇気」だと知ることができました。

ふれあい学級も国

際化 — A L T と語る —

ふれあい学級の皆さんは「身振り、手振りでも心は通じるはず」と、十月の学習は本町の英語指導のために来ていらっしゃるゴードンさんと語ってみることにしました。

「こんにちは」のあいさつはどう言うのですか、などの簡単な英語を教えてもらったり、「アメリカの八〇歳の人と日本の八〇歳の人とどちらが若く見えますか。」の質問に「それは日本人が若く見えますよ。」とゴードンさんの上手な日本語にみんな感心しながら時間のたつのも忘れての話し合いができました。



高齢者もハイカラに…

「青少年育成の日」活動

頑張っています！②



中学校男子スタート(大原)

子ども会活動の意義とは何でしょうか。それは、最近失われてきた異年齢集団による遊びを通して、子どもの自主性・社会性を培うとともに、生命尊重や自然



第1ゲートをねらって(川原)

愛護などの態度を育てることです。これらは家庭生活だけでは十分に育むことが



いなくまサーブよ(麓)

できません。

では、第二土曜日(学校週五日制)とはどう違うのでしょうか。第二土曜日は、その過ごし方を全く家庭、とりわけ子ども自身が決定



読書の秋、深まる(上部)

します。自分自身で計画を立てて準備し、有意義な一日を過ごすことが大きな目的です。

青少年健全育成のため家庭・地域で協力しましょう。

地域を支える婦人会活動

ボロ回収 10/16

去る10月16日の土曜日、各集落ごとに集められたボロをトラックが次々と積み込み、今年も婦人会ボロ回収が始まりました。資源のリサイクルと婦人会の活動資金づくりを兼ねて、毎年取り組んでいます。ボロの価格が下がるなど困難な状況も出てきましたが、会員の一致団結で頑張っています。

この日は、合計三千二百七〇・五kgが集まりました。全会員の汗と町民の方々のご協力のたまものです。この経験と収益金は今後の活動に生かさせていただきます。

近ごろ、婦人会活動の意義が問われることがあります。家庭のため、地域のため、そして婦人自身のための婦人会活動です。会員一人ひとりの創意工夫で、台風禍に悩む田代町をふるいたたせようではありませんか！

今月は「青少年の夢を

はぐくむ運動」月間

次代を担う鹿兒島の青少年が、自立の精神に富み、優れた創造性と国際的な感覚や豊かな情操を培い、個性豊かでたくましい人間に成長することは県民すべての願いです。

国及び青少年育成会議においては、国民の青少年健全育成に対する理解を深め、各種青少年健全育成活動への積極的な参加を促すため、毎年11月を「全国青少年健全育成強調月間」と定め、全国的にも青少年健全に対する取組を展開することとしています。

本県においてもこれを受け、11月を「青少年の夢と希望をはぐくむ運動月間」と定め、青少年健全育成についての普及啓発活動や関連事業を集中的に実施しています。

1、「家庭の日」「青少年育成の日」活動の実践

2、第二土曜日における活動の実施

3、非行防止活動の実践等